

大麦緊急特報

平成28年9月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

9月中旬以降、雨が多く、ほ場の乾きが大変悪くなっています。
ほ場が柔らかい状態で無理にドリル播きで播種すると、出芽や
苗立ちが悪くなるので注意してください。

緊急対策

1 排水対策の徹底

額縁排水溝を設置していない場合は、速やかに設置するとともに、**排水口等の手直し**を行い、停滞水が排水できるようにしてください。

2 計画的な播種

- ・ ほ場の乾くのを待って、10月中旬頃までに播種が終わるように計画的に作業してください。
- ・ 乾いたほ場から播種するとともに、土壌が十分に乾かない場合は散播に変更しましょう。

3 播種深さの再確認（ドリル播き）

ほ場が柔らかいと機械が沈み込むことが予想されます。

このため深播きになる可能性がありますので、**播種深さが3cm以上にならないよう**播種機の設定を確認しましょう。

※ただし、ドリル播きで除草剤を使用する場合は、種子が表面に出ないように注意してください（散播は除草剤を使用しない）。